都知事選

「福祉第一の都政に転換」「安倍暴走にストップ」訴え 宇都宮氏が大健闘

東京都知事選挙の結果について

二〇一四年二月一三日　日本共産党港地区常任委員会

今回の東京都知事選挙は、安倍政権の暴走から平和と民主主義、都民のくらしと福祉をどう守るのか、石原・猪瀬の一四年間の都政の転換が問われた重要な選挙戦となりました。

宇都宮けんじ候補は、くらし、いのち第一の都政の実現と安倍政権の暴走ストップを訴え、都民、国民の熱い期待を受けてたたかいました。当選にはいたりませんでしたが、得票率で五・六％も伸ばし、低投票率のもとでも得票を前進させるなど、大健闘しました。

港区でも、宇都宮氏は、前回の得票率一二・三九％から二・九三ポイント増の一五・三二％へと前進させました。

宇都宮都知事実現のために力をお寄せくださったすべてのみなさまに心より敬意を表します。

宇都宮氏は、一月六日、出馬表明を行い、五つの基本政策とオリンピック・猪瀬前都知事疑惑究明の特別政策を発表し、対決軸をいち早く都民のなかに明らかにして、論戦をリードしました。

他候補は、出馬表明を遅らせたり、政策発表を告示直前まで行わず、テレビでの政策論争を回避するなど争点かくしに終始しましたが、宇都宮氏は街頭演説でも、限られたテレビ討論でも政策・実績ともに抜群の存在感を示しました。

宇都宮氏の訴えは、都民・国民の願いそのものであり、多くの都民から賛同と共感の声が寄せられました。また、宇都宮氏は、政策を支持する政党・団体・個人が力を合わせてたたかう」選挙運動を呼びかけました。

勝利できなかったことは大変残念ですが、宇都宮氏に寄せられた得票とたたかいは、引き続くたたかいへの展望を切り開く力となるものです。

宇都宮氏は、前回の選挙と比べたら運動の輪が広がり、大きく前進した。選挙政策で掲げた福祉の充実、脱原発、原発事故の被災者支援、憲法改悪に反対する運動を続けていきたい」と表明しています。

今回の新しい共同の取り組みは、次なる都政転換の基礎となるものです。

私たちは、都民、区民の切実なくらし、福祉、教育、地域経済などの要求実現めざして、共同をさらにひろげ、都民が主人公の都政への転換めざし、新たなたたかいのスタートをきることを表明するものです。

国民・都民要求をかかげ引き続き頑張ります

各候補者の得票と得票率

	東　京	（率・％）	港　区	（率・％）
宇都宮けんじ	９８２，５９４	２０．１８	１２，９６８	１５．３２
ますぞえ要一	２，１１２，９７９	４３．３９	３４，８０８	４１．１２
細川　護熙	９５６，０６３	１９．６３	１９，７９２	２３．３８
田母神としお	６１０，８６５	１２．５４	１２，７３８	１５．０５

みなと民報　２月 号外

発 行　みなと民報社　海岸２－４－１２

責任者　　栗橋伸次郎

日本共産党港地区委員会は、上記の声明を発表しました。

（3455）0